

ほんの森

図書館 ☎84-3311



図書館休館日
10月3日(火)・毎週月曜日

子ども映画会

『ありときりぎりす』ほか3本

- 日 時 10月15日(日)
午前10時・午後2時
- 上映時間 45分
- 場 所 2階ハイビジョンホール
- 定 員 各回120名
- 入 場 整理券(無料)を配布しています。
ご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。

金曜映画会

『新 影の軍団3』
(千葉真一主演)

- 日 時 10月27日(金)
午後2時から
- 場 所 2階ハイビジョンホール
- 定 員 先着100名
※整理券は不要です



文芸

◆俳句

其処此処に秋草活けある旅の宿

浅野 茂子

土用浪満目蕭条九十九里

池田 逸子

飛行機を瞬時のみ込む大花火

伊藤 敬子

路地裏や屋根の隙間に赤き月

今関満喜子

駈けだししランドセル追う赤とんぼ

魚地 照子

鰯雲湧き深々と海の紺

江森 悦子

秋の蚊に刺され通すや通夜の席

大谷 武彦

浜風や残暑の砂に灼ける足

川島 孝夫

月代や句心湧きしときしのび

桑名 大行

世の様を斜に覗みし栗山子かな

向後 寛

ふる里や誰彼の墓子盃蘭盆会

越川せつ子

芋の葉に夜明けの光星祭り

佐瀬 輝夫

あ・うんと冷酒間合をつなぎおり

宍倉 道子

蟬時雨並んで若き兵の墓

鈴木とし子

風の盆編み笠の面あげず過ぐ

玉虫 栗扇

秋立ちて雀の群れる畦の道

土屋美枝子

天瓜粉匂ふ子を抱く虫封じ

土屋 義昭

戸を閉めて花火の余韻惜しみつつ

福田 幸子

月今宵露台のわれを離さざる

藤代 ゆう

蜻蛉生る愛しきまでの翅ひろげ

布施 和代

蛸や鬚白し隆太窯

丸山 照美

鱗持ちどつと張り出す鰯雲

村上 淳

蠅一匹額に点じ只管打座

山口 一秋

見廻りて仕舞南瓜を取り入れし

若梅あやめ

寄す涛の秀の彩極む今朝の秋

渡部 和秋

◆短歌

わが町に三十年住めど知らざりき山懐の池の美し

西山満里子

総り田に女男の栗山子の立つ傍へ
会話するがに風の過ぎゆく

押尾 輝子

力こめ捏ねゆく蕎麦粉はよき香り
あたりに広げ蕎麦となりゆく

池田 春江

夕べより降りるし雨の上がるらし
みんなん蟬の鳴き初めてきぬ

永藤 滋

突然の訪問者のごと庭中に
夏水仙が二本茎立つ

吉岡 信子

いつもより新盆の家数多く
里のあちこち車に巡る

平山 芳子

産屋あけ帰りてゆける孫の車
エンジン音の遠くなりゆく

芹川 初子

久しくも憶れるたりし尾瀬ヶ原
思ひかないで巡りあるなり

田崎 尚美

若き日に戻りてみたりし御輿もむ
熱気漂ふ祭りの宵は

八角 三枝

新盆の家に集ひし人々は
スポーツマンの故人を語る

長谷川正子

入院のわだかまり持つ吾が裡を
音なく清き水の流るる

佐瀬 初音

花道を丸橋忠弥の橋之助
背反らしつつ莢に歩みく

斉藤つね子

若き日の想い出胸に縁にでて
眺むる月のなんとすがしき

越川 義則

真夏日の終わらなきごとと続しに
鈴虫泣きて秋は近づく

高梨 キヨ

軍友会追悼式の出席は老いて寂しや
淋しや半数にみたず

鈴木 益郎